

第七十五回帝國議會
衆議院

輸出資金及輸出品製造資金融通損失補償法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 井上 知治君

理事西田 郁平君 理事古田喜三太君

理事會和 義弼君 理事鹽川 正藏君

岡崎久次郎君 津原 武君

最上 政三君 川島正次郎君

宮本雄一郎君 星 一君

世耕 弘一君 須永 好君

池崎 忠孝君 山元龜次郎君

三月五日委員岩瀬亮君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松村光三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月五日商業組合法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

農林省農務局長 土屋 正三君

商工政務次官 加藤鑠五郎君

商工省監理局長 牧 檜雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

損害保險國營再保險法案(政府提出)

商業組合法中改正法律案(政府提出)

○井上委員長 是ヨリ開會致シマス、此ノ委員會ニ併託ニナリマシタ商業組合法中改正法律案ニ付キマシテ政府ノ御説明ヲ願ヒマス、——加藤政府委員

○加藤政府委員 本改正法律案ハ曩ニ本會議ニ於テ申述ベマシタ通り、現下ノ中小商

業ノ實情ニ對應スル爲ニ、商業組合法ノ一部ヲ改正セントスルモノデアリマス、商業組合ノ制度ハ昭和七年ノ夏ニ法律制定セラレ其ノ時ヨリ實施セラレテ居ルノデアリマシテ、我國ノ中小商業ノ振興助成ノ機關トシテ、逐年發達シテ參ツタノデアリマスルガ、今次事變ガ勃發致シマシテカラハ、重要物資ノ配給統制機關トシテ、將又物價統制機關トシテ、極メテ重要ナル意義ヲ有スルヤウニナリマシタノデ、一昨年ノ本議會ニ於キシマテ法律ノ一部改正ヲ爲シマシテ、組合事業ノ擴充ヲ圖リマシタルノ外、統制商業組合制度ヲ樹立致シマシテ、當時ノ實情ニ即應シテ參ツタノデアリマス、併ナガラ現行商業組合制度ニハ弱小商業者ガ之ヲ利用シテ活動スルニ尙ホ不十分ナ點ガアリマス上ニ、商業組合ノ監督取締ノ方面ヨリ見マシテモ、統制經濟ノ現狀ニ鑑ミマシテ尙ホ多少ノ缺陷ガアリマスノデ、是等ノ不便ト缺陷ヲ補フ爲メ、今回更ニ本法ノ一部改正ヲ企圖致シマシタヤウナ次第デアリマス

先づ小商業者ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ數ハ極メテ多數ニ上ツテ居リマシテ、而モ最近ノ實情ハ物資ノ配給統制、物價ノ統制ニ依リマシテ、相當ノ打撃ヲ受ケテ居ルヤウデアリマス、隨テ是等ノ小商業者ヲシテ速ニ組織化セシメ、共同經營のナル事業ヲ行ハシムル等致シマシテ、是ガ振興ヲ圖リマスト共ニ、他方其ノ團體ヲシテ物資物價ノ對象タラシムルコトハ、此ノ際洵ニ急ニ要スルモノガアリマス、然ルニ現行商業組合制度ハ是等ノ小商業者ノ組織化ト共同經營ニ不便デアリマスノデ、商業組合トハ別個ニ一ノ共同經營のナル組合、即チ商業小組合ヲ創設致シタイト存ズル次第デアリマス、此ノ小組合制度ノ骨子ト致シマスル所ハ大體工業小組合ト同様デアリマシテ、一、地區ヲ定メズ任意ノ業者ノ合意ニ依リテ組織セシムルコト、二、取扱商品ノ購入保管運搬並ニ販賣業ノ經濟的共同事業ヲ專ラ行ハシムルコト、三、組合員數ハ原則トシテ十名程度トスルコト、四、小組合ハ商業組合ノ組合員タラシメテ其ノ統制ニ從ハセシムルコト等デアリマシテ、之ヲ要約致シマスレバ、一ノ共同經營のナル事業團體トシテ育成シテ參リタイト存ズル次第デアリマス

次ニ支那事變勃發以來、物資ノ需給調整ノ進展ニ伴ヒマシテ、當省ニ於キマシテハ商業者ノ部門ニ付キマシテハ、可及的是等ノ業者ヲシテ商業組合ヲ組織セシメテ、各種ノ物資配給統制並ニ物價統制ニ即應セシメテ參リマシタ、其ノ結果事變前千四百組合デアリマシタモノガ、只今デハ組合數五千六百ヲ超ユルノ狀況トナツテ居リマス、且又從來中小商業者ノミヲ以テ組織シテ居リマシタノガ、今日デハ大問屋其ノ他ノ大商業者モ加入致シテ參リマシテ、我國商業ノ相當部分ガ商業組合ノ傘下ニ集リツツアル次第デアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、今後ノ長期經濟統制ニ於キマシテ、迅速且ツ公正ナル物資ノ配給ト、適正ナル物價ノ統制ヲ期スルト否トハ、本組合制度ノ運用ノ如何ニ存スル所、極メテ多キヲ痛感スル次第デゴザイマス、隨テ其ノ公共的ナル機能ニ鑑ミマシテ、是等ノ統制事業ヲ行ヒマスル商業組合ニ對シ、指導及ビ監督ノ規定ヲ整備スルト共ニ、他方商業組合中央會ノ如キ全國的機關ヲシテ、其ノ所屬ノ組合ノ自治監査ヲ行ハセシメマスルコトモ亦洵ニ必要ト認メタ次第デアリマス、即チ物資並ニ物價ノ各種統制ノ急速ナル變革ニ即應シテ、統制方法ヲ變更致シマスル場合、又ハ組合ノ決議ニ明瞭ナル過誤ノアリマスル場合、之ヲ速ニ修正シマス等、特別迅速ヲ要スル場合ニ定款ヤ統制規程ノ變更處分ヲ爲シ得ル途ヲ開クコト、並ニ物資配給ト云フガ如キ公共的事業ヲ爲シツツアル役員ノ地位ニ鑑ミマシテ、必要アルトキハ行政官廳ガ組合役員ノ選任又ハ解任ヲ爲シ得ル途ヲ開キマシタコトデアリマス、他方商業組合ノ事業ノ運營狀況ニキ付マシテ、其ノ狀況ヲ常時監査シ、不正ナル點ハ之ヲ矯正シテ、公正ナル統制ヲ爲サシムルト共ニ、是ガ健全ナル發達ヲ圖リマスコトハ、此ノ時局ニ際シマシテ特ニ必要デアリマスノデ、商業組合中央會ヲシテ、當省ノ認可ニ係ル商業組合監査員ヲ設置致サセマシテ、其ノ所屬ノ組合ノ常時監査ヲ行

付託議案
輸出資金及輸出品製造資金融通損失補償法案(政府提出)(第四號)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)(第七號)
損害保險國營再保險法案(政府提出)(第八號)
商業組合法中改正法律案(政府提出)(第九號)

ハシムルコト致シマシタ次第デアリマス
商業組合法ヲ改正致シタイト存ジマスル
ノハ大體以上ノ通デアリマスガ、尙ホ御質問
御ニ依リマシテ答申上ダルコト致シマス
○井上委員長 只今ヨリ損害保險國營再保
險法案ノ審議ヲ始めマス——最上君

○最上委員 私ハ只今上程ノ損害保險國營
再保險法案ノ質疑ヲスル前ニ、一般損害保
險ニ付テ二三御質問ヲシテ見タイト考ヘマ
ス、現在我國ノ損害保險ノ現狀、中小保險
會社ノ情勢ハ、契約、送達、其ノ他ノ爲、
或ハ料金ノ割引トカ割戻等ヲ行ツテ居ル一
流會社ヲ除イテハ動モスレバ其ノ經營狀態
ガ餘リ宜クナイヤウニ聞イテ居ルノデアリ
マス、政府ハ曩ニ是等ノ弱小會社ニ對スル
合併及ビ整理等ニ付テ、色々對策ヲ講ゼラ
レタヤウデアリマスルガ、政府ハ是等ノ弱小
會社ニ對シテドウ云フ對策ヲ持ツテ居リマ
スカ、先ヅ此ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデア
リマス

○牧野政府委員 御尋ノ點ハ主トシテ損害
保險ノ關係ノヤウデゴザイマスガ、損害保
險關係ニ付キマシテ申上ゲマス、今最上
委員ノ御話ノ通りニ我國ノ保險會社ノ數
ハ、サウ少イ方デハナイト考ヘルノデアリ
マス、隨テ營業上色々競争ヲ致シマシテ、
協定シテ居リマスル保險料率ヲ割引スル等
ノ事實ガアルコトハ確カデゴザイマス、ソ
レニ依リマシテ其ノ業績ガ非常ニ惡化シタ
カト申シマス、最近ニ於キマシテハ各社
ノ經營狀態ハ色々改善セラレマシテ、一方
各種災害ノ發生ノ割合ノ少イ關係モアリマ
シテ、各社共業績ガ大體良好ナノデゴザイ
マス、併シナガラ損害保險會社ノ現狀ガ、
アレデ宜シイカト申シマスルト、私共ハ左

様ニ考ヘナイノデアリマシテ、各社各ノ業
績ヲ見マスルト、或ハ事業費ノ點ニ於テ、
或ハ經營ノヤリ方等ニ付テ改善ヲ加フベキ
點ガ可ナリアルト考ヘラレルノデアリマス、
各社ノ現狀ニ於キマシテ各、指導的ナ監督
ヲシテ居ル譯デアリマス、積極的ニ是等ノ
モノヲ整理シ、或ハ合併スルコトヲヤルカ
ドウカトノ御尋モアリマシタガ、保險會社
ニ對シマスル商工省方針致シマシテハ、
何分ニモ保險事業ガ信用事業デアアル關係
上、積極的ニサウ云フコトヲヤルコトハ如
何デアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、
隨テ今申上ゲマシタ通りニ各社ノ經營ノ實
狀ヲ實地檢査ナリ、書類ノ上ノ審査ナリニ
依リマシテ、改善セシメル方策ヲ執ツテ居
ルノガ現狀デアリマス

○最上委員 只今ノ御話ハ損害保險會社ニ
對スルコトト思ヒマスガ、私ノ聞及ブ所デ
ハ生命保險會社等ニ於テハ、新規契約ヲ
中止シタヤウナ會社モアルヤウデアリマス、
損害保險會社ニ於テハサウ云フ弱小會社ハ
ドノ位アリマセウカ、御答願ヒタイ、會社
名ハ兎モ角トシテ、會社ガアツタナラバ御
答願ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 生命保險會社デ新規契約ヲ
中止シテ居ルト云フモノハゴザイマセヌ、
外國保險會社デ内地ニ營業シテ居ツタモノ
ガ、最近ノ生命保險事業ノ日本ニ於ケル發
達ノ爲ニ事業ガ出來ナクナリマシテ、日本
ニ於ケル新規契約ノ募集ヲ中止シ、現存ノ
契約ヲ維持スルガ爲メノ事務ダケヲ殘シテ
引揚ゲテ居ルモノモアリマス、内地ノ會社
ニ於キマシテハ、新規契約ヲ中止シテ居ル
モノハゴザイマセヌ、ソレカラ損害保險ノ
會社中比較的業績ガ舉ラナイモノハ何社ア

ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ何社
アルト的確ニ御答ヘ出來ナイノデアリマシ
テ、之ヲ何等カノ標準ニ依ツテ申上ダルコ
トニナリマス、相當業界ニ及ボス影響モ
アリマスノデ、此ノ點ハ御答ヲ御許シ願ヒ
タイト思ヒマス

○最上委員 私人聽キ方ノ間違ヒデアツタ
カモ知レマセヌガ、生命保險會社デ新規契約
ヲ中止シテ居ル所ハナイト云フノデアリマ
スガ、ソレナラバ損害保險所謂火災保險會
社ニ於テ新規契約ヲ中止シテ居ル會社ハア
ルデセウカ、ナイデセウカ

○牧政府委員 損害保險會社ニ於キマシテ
モ、新規契約ヲ中止シテ居ルモノハゴザイ
マセヌ

○最上委員 只今ノ答辯デ大體分リマシタ
ガ、是ハ聊カ古い問題デアリマスガ、彼ノ
震災當時ノ政府助成金ノ問題デアリマス、
六千三百五十五萬餘圓ノ政府出資ニ依ル助
成金ヲ、其ノ後は等會社ガ政府ニ對シテ期
限通りニ支拂ツテ居ルカ、聞ク所ニ依ルト
其ノ後大分支拂ウテナイ會社モアルト聞イ
テ居リマス、又利子ヲ免除スルトカ或ハ割
引シタヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、是
等ニ付テ詳細ナル御説明ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○牧政府委員 大正十二年ノ關東震災ニ當
リマシテ交付シタ助成金ハ、仰セノ通り六
千三百五十餘萬圓デアリマス、是ハ御承知
ノ通り長キハ五十年ニ互ル年賦償還デアリ
マスガ、償還總額ガ一億四千九百九十萬圓ニ
ナツテ居リマス、其ノ後各社ガ償還ノ計畫
ヲ政府トノ間ニ決メマシテ、各社ハ償還ニ
努メテ居ル譯デアリマスガ、大體ニ於キマ
シテ最近ノ損害保險會社ノ業績ノ向上ニ伴

ヒマシテ、其ノ納付ハ非常ニ成績ガ良イノ
デアリマス、中ニハ纏メテ支拂フシタイト
云フヤウナモノモゴザイマシテ、一二社現
ニ滞納シテ居ルモノモゴザイマスルガ、ソ
レヲ除キマスト約束通りノ方法デ、此ノ金
ニ對スル納付ガアリマシテ、既ニ四千二百
六十萬圓ノ納付額ヲ見テ居ル譯デアリマス、
滞納シテ居ルモノハ今申上ゲマシタ通りニ
大體二社デゴザイマシテ、此ノ金額ハ大シ
テ大キイモノデハゴザイマセヌ

○最上委員 金額ハサウ多額ニ上ツテ居ラ
ナイニシロ、ソレニ利子ヲ計算シテ見ルト
相當年月掛ルノデアリマスガ、ソレ等ノ利
子ニ付テモ割引トカ或ハ免除シタト云フヤ
ウナコトハアリマセヌカ

○牧政府委員 助成金ノ利子ハ其ノ年賦償
還額ヲ決メテ居リマシテ、別段計算ハシテ
居リマセヌ、ソレナラズ利子ニ該當スル部
分ヲ免除スルト云フヤウナ處置ヲ執ツタコ
トハナイノデアリマス、實ハ先年非常ニ業
績ノ惡イ會社ニ付キマシテ、元利ノ免除若
クハ減免ト云フヤウナコトガ業界ニ於テ要
望ニナリマシテ、サウ云フコトガ言ハレタ
コトモゴザイマスルガ、政府財政ノ都合其
ノ他ニ依リマシテ、未ダニ實現ガ出來ナイ
譯デアリマス、減免ノ事實ハゴザイマセヌ

○最上委員 更ニ進ンデ私ハ静岡ノ火災ニ
對スル問題ニ付テ、御尋シタイノデアリマ
ス、御承知ノ如ク静岡ノ大火ハ近來稀ニ見
ル所ノ大被害デアリ、天下ノ同情ハ静岡市
ニ皆集ツテ居ルヤウナ次第アル、然ルニ
此ノ間火災保險會社ニ於テモ相當ノ損害ガ
アツタヤウデアリマスガ、ドノ位損害ガア
ツタカ、又ソレ等ノ保險金ノ支拂ニ付テモ
マダ全部ノ支拂ガ完了シテ居ラナイヤウニ

聞及ブノデアリマス、特ニ甚シイノハ弱小
會社ニ於テハ言フ左右ニシテ、保險金全額
ヲ支拂ハナイ云フトヤウナ説モ聞クノデア
リマスガ、斯ウ云フコトニ付テ詳細ニ御説
明ヲ承ツテ、又更ニ御質問シタイと思ヒマ
ス

○加藤政府委員 靜岡ノ大火ニ付テ御質問
デアリマスガ、保險金ノ總額ハ二千八百八
二萬圓デアリマシテ、其ノ中外國ニ再保險
ヲ致シデアリマシタガ故ニ、ソレカラ入ツ
テ參リマス分ガ四百九十九萬三千圓デアリ
マス、仍テ火災保險ノ正味ノ損害ト云フモ
ノハ、千六百八十二萬六千圓ニナツテ居ル
ノデアリマス、ソレデ支拂ハ大體済ンデ居
ルノデアリマス、問題トナツテ居ルノハ僅
カアリマスケレドモ、大體完了致シテ居ル
次第デアリマス、件數ハ只今ノ所不明デア
リマス、何レ又出來ルダケ調ベテ御答致シ
タイと思ヒマス

○最上委員 私ノ聞ク所ニ依リマス、ド
ウモ大會社ハ會社ノ名譽ノ爲ニドン／＼支
拂ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、弱小會社
ニ至ツテハ色々理由ノ下ニ支拂ヲ延シテ
居ル、是ハ單ニ靜岡ノミデハナイ、各地方
ニ於テ弱小會社ガ保險率ヲ割引シ、或ハ割
戻シ等ヲシテ盛ニ勸誘シテ居ル、勸誘シ
テ居ツテ一ト度其ノ地方ニ火災ガアルト、
色々難辯ヲ付ケテ支拂ヲシナイ、支拂ヲ
シナイト云フト語弊ガアリマスガ、其ノ中
ノ一割ヲ遺ルトカ或ハ保險料金ヲ遺ルトカ
云フノガ非常ニアル、私ノ地方ノ如キハ最
モ弱小會社デアツテ——名前ハ言ヒマセス
ガ甚ダサウ云フ會社ガ契約ヲヤツテ居ツテ
一ト度火災ガアルト、千圓二千圓位ノ保險
金位デスラ言フ左右ニシテ支拂ハナイデ、

引摺ツテ居ルト云フヤウナ狀況デアル、被
害者ハモウ當然ノ困窮ノ爲ニ餘儀ナクソレニ
應諾シテ居ルト云フヤウナ情勢デアル、單
ニ靜岡ノ問題ノミデナク、是等ノ事態ガ頻
頻トシテ全國ニアル以上ハ、商工省當局ハ
斯ウ云フ弱小會社ニ對スルサウ云フ契約不
履行ニ對シテハ、ドウ云フヤウナ取締ヲナ
サルノデアルカ、之ヲ一ツ承リタイ

○加藤政府委員 只今ノ御質問デアリマス
ルガ、靜岡デハ御言葉ノ小サイ會社ト云フ
ノデ拂ハスト云フ譯デアリマセスデ、僅
カマダ殘ツテ居ルノハ、其ノ損害ノ程度
ノ雙方ノ言分ノ違ヒニ依ツテ殘ツテ居ルノ
デアリマシテ、ソレガ小サイ會社ナルガ故
ニ拂ハスト云フ譯デアリナイノデアリマス
カ、左様御承知ヲ願ヒタイと思ヒマス、又
只今勸誘スル時ハ巧イコトヲ言ツテ勸誘ス
ルガ、出ス時ニハ色々文句ヲ言ツテ支拂ヲ
セヌ、之ヲドウスルカト云フ御質問デアリ
マスルガ、政府ト致シマシテハサウ云フ事
件事件ニ依リマシテ、御注意ヲ願ヒマスレ
バ、相當其ノ會社ニ對シテモ注意監督ヲ致
ス積リデゴザイマス

○最上委員 靜岡等ニ於テモ一社ノ契約者
ニ對シテハ直チニ支拂ヲガ、併シ二社以上
ニ加入シテ居ル契約者ニ對シテハ、色々兩
社ト協議等ノ爲ニ延期サレルヤウナ場合
ガ多イ、斯ウ云フ例ハ靜岡ノミナラズ私ノ
地方デモ多々アルノデアリマス、保險會社
ハ其ノ契約者ガ他社ト契約シテ居ルト云フ
コトヲ知リツツ……知ツテ居ルカドウカ分
ラヌガ、暗ニ知ツテ居ツテモ自己ノ會社ノ
業績ヲ舉ゲル爲ニヤルヤウナ風ガ見エ、
是等ニ付テ當局ニ於テハドウ云フヤウナ對
策ヲ講ゼラレルヤウナ考デアリマスカ

○牧政府委員 保險金支拂ノ問題ハ、損害
保險生命保險ヲ通ジマシテ色々問題ガア
リマシテ、其ノ當該事件ノ當事者カラ毎年
多數ノ陳情ガゴザイマシテ、ソレ等ノ陳情
ガアリマシタ場合ニハ、當該事件ニ付キマ
シテ其ノ會社ニ事實ヲ取調ベマシテ、非違
ガアレバソレヲ匡スト云フヤウナ方法ヲ執
ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ多數ノ
會社ノ多數ノ契約件數デアリマシテ、御指
摘ノヤウナ點ガ或ハアルカモ知レナイト考
ヘマスガ、是等ノ點ハ將來十分監督上ノ注
意ヲシテ、絶滅ヲ期スルヤウニ努メタイト
考ヘテ居リマス

○最上委員 私ハ次ニ戰時海上保險ニ付テ
質疑ヲシタイと思フノデアリマス、先ヅ第
一ニ御伺ヒ致シタイノハ、此處ニモ大要ノ
參考書ガ參ツテ居リマスガ、第一次歐洲大
戰ノ當時ニ於ケル戰時保險補償法發布當時
ノ損害發生件數並ニ保險金額、其ノ後戰時
海上再保險法ノ實施ヲ見タ後ニ於ケル海上
ノ損害發生件數並ニ金額等ガ御分リニナツ
テ居レバ、御知ラセテ願ヒタイ

○牧政府委員 第一次歐洲大戰當時ニハ今
御話ノ通りニ、初ニ政府ガ補償スルト云
フ制度ヲ採リマシテ、其ノ後餘リ政府ノ支
出ガ多額デアリマシテ、財政上憂慮セラル
ベキ事態ニ立至リマシタノデ、再保險法ヲ
實施致シマシタコトハ御話ノ通りデアリマ
スガ、補償當時ニ於キマシテ起ツタ損失ハ、
船舶ガ五隻沈沒致シマシテ、其ノ損害額ハ
二千七百萬圓ニ達シテ居リマス、再保險實
施時代ニ於キマシテハ、沈沒シタ船舶ハ三
隻デゴザイマシテ、其ノ收支ヲ申上ゲマス
ト、收入ガ約三千九百萬圓、支出ガ約千三
百萬圓、隨テ收入超過ニナツテ居ル部分ガ

約二千六百萬圓、補償法時代及ビ再保險法
時代ヲ通ジマシテ、大體收支ノ計算ハ見合
ツタ形ニナツテ居リマス、細カイ事ヲ申上
ゲマス、其ノ間ニ要シマシタ事務費等ガ
財政上支出超過ニナツテ居ル狀態デアリマ
ス、ソレカラ沈沒シタ船舶ニ付キマシテ今
隻數ヲ申上ゲマシタノハ、日本船舶ノミデ
ゴザイマシテ、其ノ他ニ之ニ關係ノアル外
國船舶ガ十四隻ゴザイマス

○最上委員 大體前回ノ第一次ノ再保險法
當時ノ事情ハ分リマシタガ、今回御提案ニ
ナツタ國營再保險法ト前回ノ保險法トハ、
ドウ云フ點ニ於テ違ツテ居ルノデアルカ、
今回ハ前回ニ比ベドウ云フ點ガ特ニ優レ
タ點デアルカ、又改正サレタ點デアルカ、
此ノ點ヲ一ツ御答願ヒタイノデアリマス

○牧政府委員 前回ノ再保險法ト今回ノ再
保險法トハ、建前ハ大體同ジデゴザイマス、
唯配付致シマシタ再保險法ノ第一條ヲ御覽
ニナリマス、分リマスガ、第一條第一項ノ
後段ニ「戰爭其ノ他ノ變亂終了後ノ狀況ニ
依リ保險會社ノ外國ノ保險者ニ對スル再保
險取引ヲ困難又ハ不適當トスル事由アル場
合ニ於テ」又再保險ヲ行ヒ得ルト云フ點ガ
異ツテ居リマス、是ハ最近ノ國際情勢カラ
考ヘマシテ、唯單ニ戰爭中ノミナラズ戰爭
後ト雖モ、外國ト再保險取引ガ非常ニ困難
ニ陥ル、サウ云フヤウナ場合ニハ政府ガ再
保險ヲヤリマシテ、保險業ノ發達ニ害ノナ
イヤウニ弊害ヲ齎サナイヤウニシタイト云
フ趣旨ヲ以テマシテ、サウ云フ場合ニモ再
保險ヲヤリ得ルト云フヤウニ規定シタ點ガ、
重要ナ違ヒデアリマス、隨テ戰爭中ニ對ス
ル臨時ノ措置トシテハ、大體第一次歐洲
大戰當時ノ再保險ノ仕組ヲ採用シテ居ルノ

デアリマシテ、根本的ノ相違ハ、此ノ點ニアルト考ヘテ居リマス

○最上委員 第一次歐洲大戰當時ノ再保險法ハ、特ニ戰時海上再保險法ト命名シテ居リマスガ、今回ハ損害保險國營再保險法トアリマスガ、勿論今回ノ海上バカリデナク、更ニ一般ノ他ノ損害保險モ之ニ含マレテ居ルノデアリマセウカ、ドウカ、此ノ目的ヲ見ルト、ソレハ含マレテ居ラナイヤウニモ解釋サレルノデアリマスガ、其ノ點ハドウデスカ

○牧政府委員 御尋ニ對シテ申落シテ申譯アリマセヌ、一般ノ保險モ或ル特殊ノ場合ニ於キマシテハ、再保險ヲヤリ得ルコトニナツテ居リマス

○最上委員 サウスルト、本法實行後ニ於テハ海上保險ノミナラズ、一般ノ内地ニ於ケル火災保險等モ此ノ規定ガ適用サレルノデアリマセウカ、ソレヲ御伺致シマス

○牧政府委員 場合ヲ分ケテ申シマスガ、此ノ法律ノ規定スル所ニ依リマス、或ル特殊ノ場合ニ於キマシテハ戰爭保險ノミナラズ、普通保險モヤリ得ルコトニナツテ居リマス、又海上保險ノミナラズ、火災保險、運送保險ト云フヤウナモノモ、此ノ再保險ノ對象トナリ得ルコトニナツテハ居リマス、併ナガラ之ヲ實際運用スル上カラ申シマス、差當ツテ必要ナノハ御承知ノ今民間ノ保險業者ト契約ヲヤツテ居リマス賠償制度ヲ、建直シタイト云フコトニ止マルノデアリマシテ、其ノ他ノ保險ノ種類ニ此ノ制度ヲ及ボストカ、或ハ普通保險ニモ及ボスト云フヤウナ場合ハ、此ノ法律ノ第一條ニ規定シテアルヤウナ、非常ナ特殊ナ稀ナ場合デアリマシテ、斯ウ云フ場合ノ發生シナ

イコトヲ政府ハ希望シテ居リマスノミナラズ、斯ウ云フ特殊ナ場合ニヤルニ致シマシテモ、餘程慎重ナ考ヲ廻ラサナクテハナラナイト考ヘテ居リマス、即チ法律ノ建前、實施等ニ付キマシテハ、非常ニ考慮ガ違ツテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○最上委員 前會ニ再保險法ヲ施行シタノハ、今日ノヤウナ場合ト餘程違フト思フ、現ニ歐洲各國、特ニ再保險國デアアル所ノ英國等ニ於テ、アア云フ事態ヲ招來シテ居ルカラ、斯ウ云フ保險法ガ出來タト私ハ思フノデアリマスガ、今回ハソレト同時ニ私ハ國際收支ノ關係ニモ餘程影響ヲ及ボスト思フノデアリマス、商工省ニ於テハ今回此ノ法案ヲ立案サレタノハ、海上保險ノ再保險國タル英國等ガ、歐洲動亂ノ爲ニ再保險ガ出來ナイカラ之ヲ實施シタノデアアルカ、又國際收支ノ關係上、外貨獲得ノ意味カラ之ヲ立案シタノデアリマス、其ノ目的何レデアルカ、御説明願ヒタイ

○加藤政府委員 ソレハ兩方デアアルノデアリマス

○最上委員 兩方デアアルナラバ、私ハ此ノ際更ニ此ノ海上保險ノミナラズ、一般損害保險ニ現ハスノガ適當デアルト思フノデアリマス、現ニ私ハ詳細イコトハ知りマセヌガ、各國内保險業者ニ於テハ、國際收支ノ「バランス」ヲ得ル爲ニ、何等カ從來外國會社ヘ契約シテ居ツタ再保險ヲ此ノ際止メヨウ、サウシテ「プール」組織ニシヨウト云フ議ガアルカノ如ク聽イテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ問題ハドウナツテ居リマス、一ツ御答願ヒタイト思ヒマス

○加藤政府委員 國際收支ノ上ニ於キマシテ、餘リ再保險ヲ外國ニ賣リマスコトハ、詰リ國際收支ノ上ニ於テ日本ノ損害トナリマスガ故、内地デ出來ルダケヤリタイト思ヒマシテ、政府ガ再保險ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、併シナガラ餘リ一ツノモノデ危險ノ大ナルモノヲ内地ニ於テ再保險ヲ致シマス場合ハ、色々事態々々ニ付キマシテ損害ノ多イヤウナコトガアレバ、之ヲ外國ノ再保險ニ附シテモ宜イト云フ譯デアリマス、出來マスナラバ又内地デ只今御話ノ如ク再保險ノ「プール」制デモヤツテ、内地ダケデ消化スルト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、サウ云フ問題ガ起リマスコトハ、政府トシテモ歡迎シテ居ル譯デアリマス

○最上委員 保險業者間デ「プール」問題ニ付テ研究シテ、何等カ對策案デモ出來タヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付テ政府委員カラ詳細イ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○牧政府委員 損害保險關係ニ於キマス最近ノ國際收支ノ關係ハ、非常ニ惡化ト申シマセウカ、支拂超過ノ方ガ多イノデアリマシテ、斯ウ云フ非常時局ニ外國ニ支拂金ガ多イト云フコトハ、出來ルダケ避ケタイト云フ考ヲ持チマシテ、一昨年来民間ノ業者ニ德應致シマシテ、出來得ル限り損害保險關係ニ於ケル國際收支ノ改善ヲ圖ラレタイ、ソレニ付キマシテハ出來ルダケ外國ニ賣ル再保險ヲ少クシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ以テ、折衝ヲ致シタノデゴザイマス、勿論保險業者ニ於キマシテモ、政府ノ此ノ話ニ對シマシテ非常ニ諒解ヲ持チマシテ、色々ノ方法ヲ考ヘマシテ、或ハ再保險ノ消化スルヤウナ會社ヲ作ツテ、之ニ對應シ

テ、餘リ再保險ヲ外國ニ賣リマスコトハ、詰リ國際收支ノ上ニ於テ日本ノ損害トナリマスガ故、内地デ出來ルダケヤリタイト思ヒマシテ、政府ガ再保險ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、併シナガラ餘リ一ツノモノデ危險ノ大ナルモノヲ内地ニ於テ再保險ヲ致シマス場合ハ、色々事態々々ニ付キマシテ損害ノ多イヤウナコトガアレバ、之ヲ外國ノ再保險ニ附シテモ宜イト云フ譯デアリマス、出來マスナラバ又内地デ只今御話ノ如ク再保險ノ「プール」制デモヤツテ、内地ダケデ消化スルト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、サウ云フ問題ガ起リマスコトハ、政府トシテモ歡迎シテ居ル譯デアリマス

ヨウト考ヘタコトモゴザイマシタガ、結局色々ノ點ヲ考慮致シマシテ、再保險ノ「プール」ヲ作ツタノデゴザイマス、サウシテ從來外國ニ出シテ居リマシタ再保險ノ或ル部分ハ必ズ「プール」ニ出シテ、外國ニ賣ルベキ再保險ノ量ヲ減ジヨウト云フコトニシタノデゴザイマス、其ノヤリ方ノ根本ト致シマシテハ、從來我國ガ賣一方デアツタ再保險、之ニ對シテ、交換ノ再保險ト云フコトヲ申シテ居リマスガ、交換シテ居ル部分ハ、お互ノヤリ取りデアリマスカラ、國際收支ヲ「バランス」セシムル上ニ於キマシテ、ソレ程ノ惡イ結果ハナイノデアリマス、片方出シ放シノ再保險ト云フモノハ、國際收支ノ關係ヲ惡クシテ居リマスカラ、出來ルダケサウ云フモノハ内地デ消化ヲ圖リマシテ、サウシテ國際收支ノ改善ヲ圖ラウト云フコトヲヤツテ居ルノデアリマス、昨年ヨリ實施セラレマシテ、昨年ニ於ケル業績ハ、茲デ非常ニ優秀デアツタト申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、此ノ制度ノ實施以來著々成績ヲ擧ゲテ參リマシテ、本年ニ於キマシテハ相當國際收支ノ關係ヲ改善スルコトガ出來ヨウト考ヘテ居リマス、今最上君ノ仰シヤルヤウニ、國際收支ノ改善ヲ圖ル爲ニ、全然是等ノモノニ付テモ、國ガ再保險ヲ行ツテ出サナイヤウニシタラドウカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、民間業者ノ努力ニ依リマシテ、擧ゲテ居リマス成績等ヲ見マスルト、其ノ必要モナイヤウニ考ヘラレマス、殊ニ今申上ゲマシタ通りニ、損害保險ノ關係ハ、ヤハリ國際的ニ危險ノ分散ヲ圖ルコトヲヤツテ行カナクテハナラナイ本質的ノ經營ノ必要ガアリマスカラ、是等ノ點ヲ考ヘマス、ヤハリ交

換て賣買シテ居リマス再保險ハ、其ノ儘ヤ
ラセルコトデ宜イノデヤナカラウカト考ヘ
テ居リマシテ、出來ルダケ今ノ「プール」ノ
實績ヲ舉ゲルヤウニ政府ハ慈惠モシ、協力
モシテ居ルノガ現狀デアリマス

○最上委員 只今ノ説明デ大體「プール」問
題ハ分リマシタガ、サウスレバ今同提出シ
タ損害保險ト云フノハ、戰時海上損害保險
國營再保險トモ解釋シテ差支ヘナイデセ
ウカ、「其ノ他」ト云フモノハドウ云フモノニ
適用スルノデアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ
○牧政府委員 今回出シマシタ法律ハ二ツ
ノ目的ガゴザイマシテ、一ツハ今最上委員
ノ言ハレマシタ目的ニ對應スル爲ノモノデ
ゴザイマス、昨年ノ九月ニ第二次ノ歐洲戰爭
ガ始マリマシテ、戰爭保險料ト申シマス、
非常ニ細カイトコヲ申上ゲルヤウデアリマ
スガ、海上保險ガ大部分デアリマシテ、其
ノ他一二ノモノガアリマスガ、是ハ餘リ普
遍化サレタモノデアリマセヌ、主トシテ海
上保險デアリマスガ、此ノ海上保險料ガ非
常ニ高クナリマスレバ、我國ノ輸出貿易、
船舶政策ニ及ボス影響ガ、默視スルコトノ
出來ナイヤウナ事情ニ立至ルノデアリマス、
隨ヒマシテ或ル程度此ノ海上保險料率ヲ安
クスルコト、ソレカラ之ヲ時々變ヘルコト
ヲサセナイヤウニシナクテハナラヌ、所ガ
危險ノ度合ガ高マリマス、保險料ヲ高ク
シナクテハナラナイ、ノミナラズ危險ノ増
強ニ依リマシテ時々保險料モ動カサナクテ
ハナラヌ、是ハ保險經營上必要トスル所
デアリマスガ、ソレヲシタノデハ輸出貿易
上採算ガ取レナクナリマシテ困リマスカ
ラ、低保險料ニサセナクテハナラヌ、低保
險料ニサセルコトニナレバ、會社トシテハ

非常ニ危險デアリマス、經營上損失ヲ見ル
コトガ多イコトニナル譯デアリマスカラ、
結局低保險料ニシロト言ヒマシテモ、低保
險料ニシツ放シデハ濟マナイ、ソレデ低保
險料ニスルコトニ依リマシテ生ズル損害
ハ、國ガ再保險ノ形デ是ガ補填ヲ圖ツテヤ
ル、其ノ代リ政府ノ承認スル保險料率以上
ノ保險料ヲ取ツテハイケナイト云フコトニ
スル必要ガアリマシテ、其ノ要求ニ應ズル
爲ニ先ヅ第一ニ此ノ法律ヲ制定スルコトニ
致シタイト考ヘタノデアリマス、又一方最
近ノ國際情勢ヲ見マス、我國ト最モ再保
險取引ヲヤツテ居リマス或ル國ノ市場ト、
何時經濟斷交ト云フ非常ナ場合ニ立至ルカ
モ知レマセヌ、サウ云フ場合ニ我國カラ相
當大部分ノ保險ヲ再保險ニ出シテ居ツタ國
トノ取引ガ斷絶スルコトカラ、其ノ全部ヲ
内地ノ業者ガ消化ヲ圖ラナケレバナラヌト
云フコトニナリマス、負擔ガ大キク、各社
ニハ日本ノ保險ニ對スル保有力ト云フモノガ
ゴザイマシテ、其ノ保有力ヲ見テ非常ニ
重荷ヲ背負ツタヤウナコトニナルト致シマ
ス、此ノ損害保險ノ契約ヲスルコトヲ躊
躇スルヤウニナルヤウナ事態モ、考ヘラレ
ルノデアリマス、非常ニ危險ノ多イモノヲ
澤山持込ミマス、經營上ノ危險ガ甚シク
ナリマスカラ、契約ヲ躊躇スルコトニナリ
マス、此ノ契約ヲ躊躇スルコトニナルト、
貿易ナリ海運政策ニ惡イ影響ヲ及ボシマ
ス、契約ヲ躊躇サセテハナラヌ、契約ヲ
躊躇サセナイガ爲ニハ、其ノ損失ニ填補シ
テヤルヤウナ制度デモ考ヘナクテハ、業者
ヲシテ圓滑ニ契約ヲ締結セシメルコトガ出
來ナイト云フヤウニ、考ヘラレルノデアリ
マシテ、是ハ非常ナ場合デアリマスガ、サ

ウ云フ場合ガ一朝起リマシタ場合ニ、國ガ再
保險ヲ致シマシテ、サウシテ保險ノ契約ヲ
圓滑ナラシメル、又保險料ガ是ガ爲ニ非常
ニ高クナルト云フ形勢ガアレバ、之ヲ抑制
シヨウト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、
其ノ場合ニ於キマシテハ普通再保險モ、又色
色ナ保險ノ種類モ、此ノ損害再保險ノ對象
トナリ得ル譯デアリマシテ、以上申シマシ
タ二ツノ場合ニ對應スルガ爲ニ、本法ヲ實
施致シタイト考ヘタノデアリマス、其ノ運
用ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタ通りニ
第二ノ場合ニ於キマシテハ、出來ルダケ民
間ノ保險業ノ本體ヲ成スベキ部分ニ影響ガ
アル問題デアリマスカラ、慎重ニ考慮シマ
シテ、切羽詰ツタヤウナ場合デナクテハ行
ヘヌモノデアラウト考ヘテ居リマス

○最上委員 現在外國會社ト我が内地ノ會
社トノ間ニ於テ、再保險ノ契約ハどの位ア
リマスカ、又外國會社ニシテ内地ノ個人損
害保險ノ契約ヲシテ居ル向キモアルデアリ
マセウガ、是等ノ會社數、並ニ件數、金額
ハどの位ニ上ツテ居リマセウカ、簡單ニ御
答願ヒタイ
○牧政府委員 再保險關係ノ收支ヲ申上ゲ
マス、便宜昭和十三年ノ數字ヲ申上ゲマス、
外國ニ對シテ賣ツテ居リマス賣再保險ガ七
千四百五十二萬圓ノ支拂デアリマス、買再
保險、外國カラ我國ニ買ツテ居リマス再保
險ノ收入ガ三千四百二十一萬圓ト云フ數字
ヲ示シテ居リマス、ソレカラ外國會社ガ日
本ニ於テ營業シテ居リマスコトニ依ツテ、外
國會社ガ收入シテ居リマス保險料ハ三百二
十三萬圓、ソレカラ我國ノ會社ガ外國ニ於
テ營業シテ收入スル保險料ガ約千七百萬
圓、斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス

○最上委員 本損害再保險法案實施後ニ於
テ、十三年度ト十五年度トニ於テ、此ノ再
保險ノ外國渡シガどの位減ル御見込デアリ
マセウカ

○牧政府委員 此ノ法律ガ實施致サレマシ
テ、差當ツテヤル保險ハ、今最上委員ノ御
話ノ通り海上保險ノ戰爭保險デアリマスカ
ラ、此ノ關係ニ於キマシテハ、別段國際收
支ニ影響ハアリマセヌ、國際收支ニ影響ノ
アル制度ト致シマシテハ、先程申シマシタ
民間業者ノヤツテ居リマス再保險「プール」
ニ依リマシテ、收支ノ改善ガ圖レヨウト思
ヒマス、其ノ數字ハ豫測ガ出來マセヌガ、
昨年度出來タバカリデ相當ノ成績ヲ舉ゲテ
居リマスノデ、今年ハ政府モ之ニ協力シ、
色々ナ點ニ付テ指導ナリ、監督ナリヲ致シ
マシテ、出來ルダケノ成績ヲ舉ゲタイト思
ツテ居リマス、之ニ依ツテ相當ノ成績ヲ舉
ゲ得ルモノト考ヘテ居リマス

○最上委員 大體其ノ點ハ分リマシタ、諸
テ昨年第二次歐洲大戰勃發以來、政府ハ之
ニ戰時海上保險補償制度ヲ臨時ニ御設ケニ
ナツテ、本年本法案ガ實施サレルマデ之ヲ
繼續スルヤウデアリマスガ、其ノ補償制度
實施後ニ於テ、我が海運界ニ於テモ照國丸
等ノ爆沈モアツタノデアリマスガ、此ノ照
國丸其ノ他ガ此ノ補償制度ノ適用ヲ受ケタ
ノデアリマセウカドウカ、御聽キ致シタイ
ノデアリマス

○牧政府委員 民間業者トノ契約ニ依リマ
シテ補償制度ヲ實施シタノハ、昨年ノ十一
月三日カラゴザイマスガ、照國丸ノ爆沈
セラレマシタノハ、其ノ十一月三日以前ノ
出來事デゴザイマシテ、實ハ政府ト民間業
者トノ賠償契約ノ成立以前ニ、民間ノ業者

ガ郵船會社ト契約ヲ致シタ保險契約ニ屬シテ居リマス關係上、政府トハ何等ノ金錢的關係ハ生ジナカッタノデゴザイマス、其ノ後歐洲ノ政情ガ不安デアリマスガ、幸ニ事故ノ發生ガナイノデアリマシテ、現在デハ實施後無事故デアツテ、保險料ガ入ルノミト云フ狀態デゴザイマス、併ナガラ本日ノ新聞ナドヲ見マスルト、ヤハリ相當歐洲廻航船舶ニ對シマシテ、外國ノ艦船カラ鹵獲サレタト云フヤウナコトモアルヤウデアリマシテ、何時事故ガ發生スルカモ知レナイト云フ點ガ懸念サレテ居ル譯デアリマスガ、現状ハ今申上ゲマシタ通りデアリマス

○最上委員 照國丸ハ補償制度實施以前ニ出港シタ爲ニ、サウ云フヤウナ契約ハナカツタト仰セラレマスガ、照國丸ノ當時ノ船舶並ニ積荷ニ對スル保險金額ハ、ドノ位デアリマスカ、ソレカラ第二ハ、本案實施後ニ對シテ保險率デアリマス、勿論其ノ方面ニ依ツテ、危險率ノ多寡ニ依ツテ違フノデアリマセウガ、大體ニ於ケル保險率等ガオ分リデアリマシタラ、御知ラセ願ヒタイ

○牧政府委員 照國丸ノ保險金額ハ船體ガ三百二十八萬圓、積荷ガ百六十五萬圓、合計四百九十三萬圓ニナツテ居リマス、先程少シ不正確ナコトヲ申上ゲマシタガ、照國丸ノ日本出帆ハ補償制度實施前デゴザイマシテ、沈ンダノハ實施後デゴザイマス、此ノ點訂正致シテ置キマス、ソレカラ此ノ法案ノ實施後ニ於ケル保險率ヲドウ云フヤウニスルカト云フ方針ノ御尋デアリマスガ、此ノ制度ヲ實施スル以上ハ、先程申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ基ク制度デアリマスカラ、出來ルダケ低保險料ヲ採用シタイト考ヘテ

居リマス、然ラバドウ云フ程度ノモノヲ以テ低保險料トスルカト云フ問題ニナルノデアリマスガ、現ニ各國トモ今我國ガ採ツテ居ルヤウナ制度ヲ採ツテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ制度ヲ採ツテ各國ガ安イ保險料ヲ取ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ安イ保險料ト睨合セマシテ、ソレ以下ノ保險料ニシヨウ、一口ニ申シマス、各國ガ低保險料主義ノ色々ナ國策ヲ實施シテ居リマスガ、其ノ國策實施ニ依ル低保險料以下ノ保險料ニ依ツテ貿易振興、海運政策ト云フヤウナモノニ、貢獻セシメヨウト考ヘテ居リマス

○最上委員 マダ色々聴キタイノデアリマスガ、既ニ時間モアリマセスカラ、國營再保險ニ對スル質問ハ是デ終リマス、農林所管ニ付テ質問シタ後デ一般商工關係モ言ヒマスガ、此ノ際農林當局ガ待ツテ居ラレマスカラ農林當局者ニ質問致シマス、現在損害保險ノ一種トシテ農業方面ニ於テハ家畜保險、漁船保險ノ實施ヲ見テ居ルノデアリマス、又昨年四月カラデアリマシタカ、農業保險モ實施サレテ居ルノデアリマスガ、ドウモ吾々カラ見ルト家畜保險、漁船保險等ニ付テモ餘リ成績ハ好クナイデアリカト思ハレノデアリマス、農業保險ニ付テハマダ實施後日尙ホ淺イヤウデアリマスガ、當局カラ是等三保險ニ對スル最近マデノ實情ニ付テ、詳細ニ承リタイノデアリマス

○土屋政府委員 只今御指摘ノアリマシタ中デ農業保險ノ問題ニ付テ御答申上ゲマス、其ノ他ノモノニ付テモ若シ御入用ナラバ適當ノ機會ニ申上ゲマス、農業保險ニ付テ一應ノ資料ニ付テ申上ゲマスガ、若シ不足ノ點ガアリマシタラ、御尋ニ依リ又申上ゲマス、昭和十五年二月十一日現在ノ數デ申

シマス、農業保險組合ノ設立セラレマシタモノハ百三十八組合、同聯合會ガ四十二ゴザイマス、當初ノ計畫デハ昭和十四年度ニ於キマシテハ百四十一農業保險組合ヲ作り、聯合會ヲ四十七作ル計畫デアツタノデアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ數ニナツテ居リマス、尤モ農業保險組合ハ既定計畫ニ比較致シマス、三ツ殘ツテ居リマスガ、是ハ何レモ設立ノ見込ハ付イテ居リマスカラ、年度變更ノ見込ハ付イテ居リマス、農業保險組合聯合會ノ方ハ北海道、大阪、沖繩、佐賀、香川ノ一道一府三縣ヲ除キマシテハ、全部ノ府縣ニ設立致シテ居リマス、其ノ内沖繩縣ハ只今ノ一寸困難デアリマスガ、残りノ一道一府二縣ニ付キマシテハ、近ク聯合會ガ設立サレル見込デアリマス、各道府縣ニ於キマス農業保險組合ノ數デアリマスガ、一番多イノハ只今ノ所長野縣ノ八組合、次ハ兵庫縣ノ六組合等デアリマシテ、少イモノハ二組合デ一聯合會ヲ作ツテ居ルモノモアリマス、最モ多イノハ三四組合ト云フ所ガ多イノデアリマス、其ノ次ハ被保險耕地ノ面積デアリマスガ、水稻ノ保險ニ掛ツテ居リマス耕作面積ハ五十萬六千八百餘町步デアリマス、ソレカラ桑園ノ耕作面積ハ十萬三千二百餘町步デアリマス、麥ノ耕作面積ハ二十六萬六千二百餘町步、合計致シマシテハ八十七萬六千二百餘町步ト相成ツテ居リマス、其ノ内十四萬二千五百餘町步ハ本年度ニ限ツテハ設立ガ遅レマシタ關係上、共濟事業ヲ行ハナイ、七十三萬三千七百餘町步ト云フモノハ本年度ニ於テ既ニ共濟事業ヲ行ツテ居ルノデアリマス、水稻ノ方ハ自作地ガ二十六萬四千四百餘町步、小作地ガ二十四萬五千四百餘町

步ト相成ツテ居リマス、次ニ收支ノコトヲ申上ゲマシタガ、十四年度ニ於キマシテ保險料ノ收入ハ約五十萬圓デアリマス、其ノ内十五萬圓ガ元受保險料トシテ農業保險組合ノ收入トナル、ソレカラ十八萬一千圓バカリガ再保險收入トシテ聯合會ノ收入ニナル、ソレカラ十七萬七千餘圓ガ政府ノ再保險收入トナリマス、以上申上ゲマシタノハ純保險料デアリマシテ、其ノ外ノ事務費ニ當リマス所謂附加保險料ガアリマス、支拂ハ昨年ハ御承知ノ旱害ガ非常ニ多カッタ爲ニ、支拂金額ガ六百五十萬圓バカリニナツテ居ル、其ノ六百五十萬圓ガヤハリ七割ト三割ノ關係デ元受保險ト再保險ニナル譯デアリマス、再保險ノ支拂ガ四百五十萬圓デ、聯合會ガ十八萬四千圓、政府ガ四百三十二萬五千圓、斯様ナ收支ノ關係ニナツテ居ル、此處デ收入ト支出ガ「バランス」ガ失ハレテ居ル譯デアリマス、是ノ處置方法ニ付キマシテハ近ク豫算總會デ十四年度追加豫算デ詳細ニ御説明シヨウト思ツテ居リマス、大體以上申上ゲタヤウナコトデアリマシテ、之ヲ私共ノ當初出シマシタ計畫ニ比ベマス

ト、先ヅ大體其ノ當初ノ計畫通りニイッテ居ルノデアリマス、ソコデ本年ハ之ヲ繰上ヲ致シタイト思ヒマシテ、當初ノ計畫ハ十四年カラ十八年マデノ五箇年計畫、ソレヲ一年繰上ゲマシテ、十四年カラ十七年マデノ四箇年計畫デ、之ヲ既定計畫第一期ノ計畫ガオ終ヒニナルヤウニ繰上ゲ施行ヲ致シタイト云フノデ、十五年度ノ豫算デ若干増加ノ分ヲ計上シテ居リマス、ソレカラ先刻申上ゲマシタ反別ガ、ヤハリ既定ノ計畫ヨリモ若干多クナツテ居リマス、ソコデ御承知ノ通り慥カ一反步ニ付テ十錢ノ附加保險料

ヲ出シ、其ノ附加保險料ノ金ガ足ラナクナ
リマシタカラ、十四年度ノ追加豫算デ十數
萬圓ヲ計上致シマシテ、是ハ近ク御審議ニ
相成ルコトニナツテ居リマス、大體以上デ
アリマス

○最上委員 只今ノ農務局長ノ御説明デ大
體分リマシタ、實ハ私ハ家畜保險ノ成績ガ
餘リ好クナカッタ、ダカラ或ハ同ジ方法ヲ
以テヤツテ居ル農業保險モ、或ハサウ云フ
ヤウナ結果ヲ見テ居ルト思ヒマシタガ、只
今ノ御答辯ニ依ツテ大體分ルシ、又是等ノ
點ニ付テ年度線上等マデヤツテ、是ガ目的
貫徹ヲスル爲ニ當局ガ盡サレテ居ルト云フ
コトヲ私ハ了承致シマシタ、ソレナラバ私
更ニ御伺シタイノハ、現在ハ御承知ノ如ク
水稻、桑、麥デアリマス、更ニ是等ヲ其ノ
他ノ蔬菜其ノ他果樹等ニモ擴張スル意思ア
リヤドウカ、又現在ノ組合等ニ於テ勿論既
ニ多數ノ組合員ガ組合ヲ形成シテ保險契約
ヲシテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ
付テハ非常ニ其ノ契約等ニ於テ不利不便ヲ
生ジテ居ルト思フノデアリマスガ、之ヲ擴
張スル意思ガアルカドウカニ付テ御伺シタ
イ

○土屋政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤
モナ御質問ト存ジマスガ、蔬菜等ニ付キマ
シテハ實ハ保險ノ基礎トナルベキ損害ノ統
計ガゴザイマセヌノデ、暫クノ間ハ其ノ方
面ニ擴張スルコトガ困難デハナイカト思ッ
テ居リマス、農業保險ノ問題トシテ速ニ何
トカ致サナケレバナラヌ問題ハ、御承知ノ
冷害ノ問題デアリマス、之ニ付キマシテハ
先般調査會ヲ開キマシテ、特別委員會ニ於
テ一應ノ成案ハ得テ居リマス、議會デモ濟
ミマシタナラバ速ニ總會ヲ開キマシテ、其

ノ特別委員會ノ答申ヲ審議致シマシテ、成
案ヲ立テタイト思ツテ居リマスガ、何分ニ
モ此ノ問題ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシ
テ、實際ニヤツテ見マス、統計ノ不備ガ
アリマシタリ、其ノ他色々ノ點ニ於テ實行
上中々容易デナイヤウデアリマス、第一此
ノ趣旨ヲ色々理解サセル點等ニ付キマシテ
モ、中々骨ガ折レマスノデ、只今持ツテ居
リマス法律案必ズシモ萬全ノモノトモ考
ヘラレマセヌ、是ハ色々實施致シマシテ、
其ノ經驗ニ依リマシテ逐次改正シテ行ク必
要ガアルト思ツテ居リマス、蔬菜等ニ付キ
マシテモ、將來ハ統計ヲ整備致シマシテ、
出來レバ左様ナ方面ニモ擴張シタイト考
ヘテ居リマス

○最上委員 只今政府委員ノ御答辯ニ依ッ
テ、色々研究シテ將來擴張スルト云フコト
デアリマスガ、私達カラ考ヘタナラバ、當
時此ノ水稻、桑、麥ト云フヤウニ限ラレタ
ノハ非常ニ不都合デアアル、更ニ野菜デア
ルトカ、果樹デアアルトカ、特殊產物等ニ付
テモ必要デアアルト云フコトヲ力説シタノデア
リマスガ、不幸ニシテソレガ容レラレナカ
ッタノデアリマスガ、ドウカ將來是等ノ統
計等ニ付テモ大イニ考究シテ、一日モ早ク
是等各項目ヲ加ヘラレンコトヲ希望スルノ
デアリマス、更ニ今回ハ風水害、旱害、氷害
等ニ適用サレルノデアリマスガ、只今ノ御
答ニ依ルト、冷害ニモ之ヲ及ボスベク近ク
法律規則ノ改正ヲナサルト解釋シテモ差支
アリマセヌカ

○土屋政府委員 冷害ニ付キマシテハ此ノ
農業保險制度ヲ直チニ適用致シマスカ、或
ハ農業保險制度ニアラズシテ、其ノ一ツノ
附隨事業トシテ共濟事業デアルカト云フ點
ガ大キナ問題デアリマス、只今ノ特別委員
會ノ成案ハ、農業保險法ヲ直チニ適用セズ
シテ、農業保險法三十六條ノ規定ニ依リマ
スト、勅令ノ定ムル所ニ依ツテ共濟事業ガ
出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ共濟事業デヤツタラ宜カラウト
云フヤウナ案ニナツテ居リマス、ソコデ是
ハ調査會ノ成案ヲ見マシタ上デ、若シ共濟
事業デ行クナラバ法律ノ改正ハ必要ナイ
シ、若シ保險デアリマスナラバ法律ノ改正
ガ必要ニナルノデアリマス、ソコラノ點ハ
政府トシテマダ方針ガ決定シテ居リマセヌ

○最上委員 共濟デ行ケバ法律ヲ改正シナ
クテモ宜イト云フコトニナリマスルト、其
ノ場合政府ノ補償其ノ他ハドウ云フ風ニナ
リマスカ

○土屋政府委員 左様ナ細目ニ互リマシテ
ハ、只今私申上ゲルノハ穩當デナイト思ヒ
マスガ、特別委員會ノ答申ノ中ニハ異常ナ
災害ノ場合ニ於テハ、政府モ相當ノ仕事ヲ
爲スベキモノデアルト云フ風ニナツテ居
マス

○最上委員 政府ガ近ク或ハ共濟制度其ノ
他ニ依ツテ、冷害等ノ方面ニモ及ボスト云
フコトノ御答辯ヲ得テ、私ハ満足致シマス、
其ノ他色々聽キタイノデアリマスガ、既ニ
時間ガアリマセヌカラ、私ハ農林關係ハ是
デ打切りマス、最後ニ是ハ大臣ニ御聽キシ
タイノデアリマスガ、少シ所管事項カラ離
レルカモ知レマセヌガ、最近生命保險ノ國
營問題ニ付テハ、各方面ニ於テ論議サレテ
居リマスガ、又政府ニ於テハ是等ノ問題ニ
付テドウ御考デアリマスカ、此ノ點御答ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○加藤政府委員 保險ノ國營ト云フコトデ
ゴザイマスガ、此ノ問題ハ相當大ナル問題
デアリマシテ、只今ノ所デハマダヤルト云
フ意思ハ持ツテ居リマセヌ、併シ調査研究
スベキ題目デアラウト思ツテ、調査研究ハ
進メテ居リマス

○井上委員長 今日ハ是デ散會致シマス、
明日ハ午前十時カラ始メマシテ、中央金庫
ノ法案ト、ソレカラ損害保險ノ法案、此ノ
二ツヲ審議スルコトニ致シタイト思ヒマス
午後零時十分散會

昭和十五年三月六日印刷

昭和十五年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局